

### 奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、試料・情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	副腎腫瘍に対する手術加療における安全性と予後調査		
② 研究期間	学長許可日から2025年3月31日		
③ 対象患者	対象期間中に当院で限局性前立腺癌に対し治療を受けられた患者さん		
④ 対象期間	2004年1月～2021年12月		
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科		
⑥ 研究責任者	氏名	堀 俊太	所属 奈良県立医科大学 泌尿器科
⑦ 使用する試料・情報等	本研究は既存資料（診療情報）のみを用いる後ろ向きの観察研究です。患者さんの診療録から、年齢・身体所見・合併症・経過・一般血液検査結果（末梢血算・血液生化学的検査・凝固検査・ホルモン検査）・画像検査結果（CT・MRI・副腎シンチグラフィ）・手術所見・病理検査結果を収集します。		
⑧ 研究の概要	副腎腫瘍は原発性アルドステロン症やクッシング症候群、褐色細胞腫に代表される内分泌活性をもつ良性腫瘍から、比較的まれな副腎癌まで多岐にわたります。治療は副腎摘除術または部分切除術が選択されますが、近い将来にロボット支援副腎摘除術が導入されるいま、各術式の周術期の安全性や予後を調査することは、今後治療選択肢が多様化するなかで、最適な治療を提供するために非常に重要な情報となります。今回、副腎腫瘍に対する手術治療を受けられた患者さんのこれまでのデータを利用していただき、手術所見や合併症、予後を調査し、手術の難易度評価や術式選択の再考をし、過剰治療や過少治療が少なく、最適な治療を提供するための治療戦略の構築を目的とします。		
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2022年3月30日	
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。		
⑫ 個人情報の取扱い	カルテIDや氏名などの個人情報を研究用IDに置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテIDと研究ID		

	の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。 研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。		
⑬ 問い合わせ先・ 相談窓口	奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 担当者：堀 俊太		
	電話	0744-29-8893	FAX 0744-22-9282
	Mail	urology@naramed-u.ac.jp	